



自己評価（平成30年度） H31.3.30 若葉保育所

保育所保育指針では、保育の質の向上を図るため、「保育計画の展開や保育士等の自己評価を踏まえ、当該保育園の保育の内容等について、自ら評価を行い、その結果を公表するよう努めなければならない。」ことが明記されています。当園では組織として自己評価に取り組みましたので公開いたします。

【評価について】 ※以下の基準で評価を行っています。

A…理想的な状態・B…どちらかといえば行われている状態・C…努力しなければいけない状態

	評価項目	結果
発達援助の基本	① 保育計画が、保育の基本方針に基づき作成されている。	B
	② 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき指導計画を改定している。	A
	③ 一人一人の子供の発達状況に配慮した指導計画となっている。	A
	④ 一人一人の子供の発達状況、保育目標、生活状況についての記録があり、それぞれの子供に関係する全職員に周知されている。	A
	⑤ 一人一人の子供の発達状況、保育目標、保育の実際について話し合うための会議を必要に応じて開催している。	B
健康管理・食事	① 登園時や保育中の子供の健康管理は、一人一人の健康状態に応じて実施している。	A
	② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映している。	A
	③ 感染症への対応については、マニュアルがあり、発生に際してはその状況を必要に応じて保護者に連絡している。	A
	④ 専門医から指示があった場合において、アレルギー疾患をもつ子どもの状況に応じて適切な対応を行っている。	A
	⑤ 日々の献立を保護者に示すとともに、必要に応じて、子どもの喫食状況を保護者に知らせている。	A
	⑥ 食事を楽しむことができる工夫をしている。	A
保育環境・保育内容	① 子供が心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	A
	② 子供一人一人への理解を深め、受容しようと努めている。	A
	③ 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人一人の子供の状況に応じて対応している。	A
	④ 子供が自発的に活動できる環境が整備されている。	B
	⑤ 身近な自然や社会と関われるような取り組みがされている。	A
	⑥ 様々な表現活動が自由に体験できるように配置されている。	A
	⑦ 遊びや生活を通して、人間関係が育つよう配慮している。	A
	⑧ 子供の人権に十分配慮するとともに文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。	A
	⑨ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	A
	⑩ 乳児保育の為の環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	A
	⑪ 長時間にわたる保育の為の環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	A

育児支援	① 一人一人の保護者と、日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。	A
	② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	A
	③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	A
	④ 虐待を受けていると疑われる子供の早期発見に努め、得られた情報が速やかに園長まで届く体制になっている。	A
	⑤ 虐待を受けていると疑われる子供の保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	A
地域支援・連携	① 育児相談など地域の子育て家庭を対象とする子育て支援のための取り組みを行っている。	B
	② 保育所の役割を果たすために必要な地域の関係機関などの情報を収集し、それを職員が共有している。	B
	③ 子どもの健康状況について、医療機関などに相談や連携ができる体制になっている。	A
	④ 育児相談などに際して、児童相談所などの専門機関に相談や連携ができる体制になっている。	A
	⑤ 小学校との間で、小学生と園児とが互に行事等で交流する機会を設けており、職員間の話し合い、研修などの機会がある。	B
	⑥ 近隣の人々に保育について理解を得たり、協力を依頼するなどの配慮をしている。	A
	⑦ 中高生などの保育体験、実習生・ボランティアの受け入れの意義や方針が全職員に理解されている。	B
基本方針	① 保育所の保育理念及び基本方針が明文化されている。	A
	② 保育理念や基本方針を職員、保護者、関係者に周知するための取り組みを行っている。	A
組織運営	① 保育の質の向上や改善のための取り組みを職員参加により行っている。	B
	② 保育の内容について、職員参加により、定期的に自己評価を行っている。	A
	③ 職員の研修ニーズを把握し、職員に適切な研修機会を確保している。	A
守秘	① 守秘義務の遵守を周知している。	A
情報	① 情報提供にあたって、わかりやすく伝える工夫や配慮を行っている。	A
	② 保育の実施に当たり、保護者から意見を聞くための取り組みを行い、その意向に配慮している。	A
安全衛生	① 事故や災害に適切に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	A
	② 事故防止のための具体的な取り組みを行っている。	A
	③ 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている。	A